

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 10月 1日

事業所名:通所支援事業所 山の家

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3				十分な広さが確保できている。	
	2 職員配置数は適切であるか	3				職員数も1対1でつけている。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3				対応できている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3				掃除、消毒とを適宜行っている。ケガなどが無いよう、物を置きすぎないようにしている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2	1			常勤だけでなく、パートの方にも入ってもらい、行っている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3				行っている。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3				公開している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1		2			外部評価は行っていない。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3				オンラインを中心に研修機会を設け、参加を促している。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	3				一人一人に合った個別支援計画の作成を行っている。	
	11 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2			1	主に新版K式発達検査を参考にしている。	
	12 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	2	1			行っている。	
	13 個別支援計画に沿った支援が行われているか	3				事前打合せを行い、より計画に沿った支援が行っている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	3				パートの方にも参加してもらい行っている。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3				子どもがやりたいことに寄り添えるように固定しないことを大切にしている。	
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成しているか	2		1		利用児童が少なく集団療育が出来ていない。		

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3				パートの方にも参加してもらっている。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3					記録だけではなく、話し合う時間を取るようにしたい。週に一度は記録を振り返り共有している。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3				記録を振り返りながら支援計画に活かしている。	
	20 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	3				行っている。	
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	2	1			適宜おこなっている。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	2	1			適宜おこなっている。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか						現在対象者がいないが、今後あれば対応していく。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか						受入れの予定が今はない。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか					同法人に保育園があるので情報共有をおこなっている。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか						今後おこなってきたい。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2			1	適宜おこなっている。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	1			同法人に保育園があるので機会がある。	
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	1		1	参加している。	
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	2	1			メールなどで日々の様子を送っている。	
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	1	1	1			現在は出来ていないため、今後行ってきたい。	

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	2	1			適宜おこなっている。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援のねらい及び支援内容」と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか	2	1			ガイドラインを参照しながら作成し、保護者の同意を得ている。	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	2	1			要望があるたび、時間を取り、行っている。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			3			現状できていない。
	36 子どもや保護者からの苦情について、対応の体勢を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	2	1			苦情処理マニュアルに沿っておこなっている。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3					会報などは出来ていないが、行事などの予定はメールなどで送信している。
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	3				職員間で共有できるようにしている。	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	2	1			状況に合わせて電話、メール、書面などで対応している。	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	2				出来ていないので今後検討したい。
	非常時などの対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	3				マニュアルもあり周知している。
42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		3				年2～3回の避難訓練を行っている。	
43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか		1	1		1	保護者から聞き取りを行い、職員に周知徹底している。	
44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		1	1		1	保護者から聞き取りを行い、職員に周知徹底している。	
45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		2			1	事例を作成し職員内で周知している。	
46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		3				虐待防止研修を適宜うけている。それを職員におろしている。	
47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか		2	1			委員会を実施し、適宜ケース会議などをもって。そのうえで、必要に応じて対応する。	